



advanced electrophysiology solutions

HPP

Hardware Processing Platform

ハードウェア処理プラットフォーム

フィードバック刺激実験に最適。

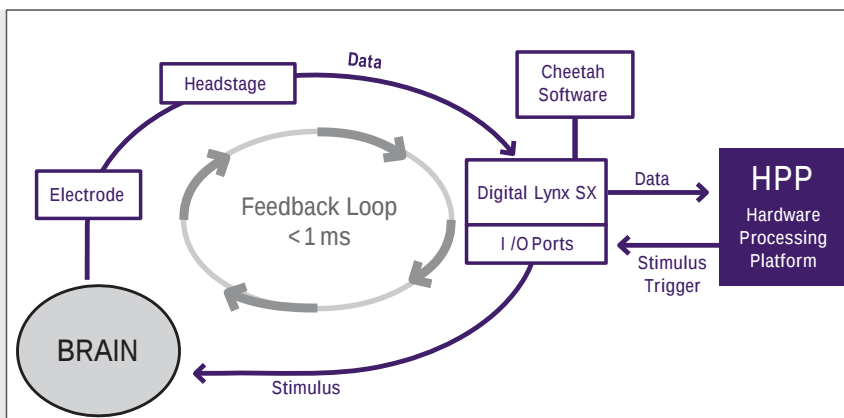
レイテンシー1ミリ秒未満のリアルタイムシグナル処理プラットフォーム。

Hardware Processing Platform (HPP) は、Digital Lynx SX のマザーボードに直接接続する高速処理プラットフォームです。

リアルタイムのデータ解析や高速なフィードバック刺激実験での応答が可能になります。

入力シグナルに対して、1ミリ秒未満で解析、応答が可能です。

また、Digital Lynx SX のアナログ / デジタル出力を正確にコントロールできます。



- Digital Lynx SX と連携し、リアルタイム処理で全シグナルにアクセス。
- 高速処理によるリアルタイム性：遅延は1ミリ秒未満。
- Digital Lynx SXの機能を拡大。
- オペレーティングシステムの遅延を解消。- 正確なリアルタイム処理。
- 外部インターフェースとのUSB接続が可能。

HPP ハードウェア特徴

- Dual ARM Cortex A9 CPU @ 1 GHz
- 1 GB DDR3 RAM
- 16 MB Flash
- SD カードインターフェース

接続

- USB 2.0
- ギガビット・イーサネット
- UART シリアル
- JTAG

HPP プログラミングツール

- MATLAB®
- Simulink®
- C++ (RTOS)
- VHDL (FPGA)

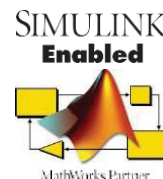
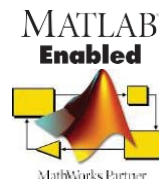
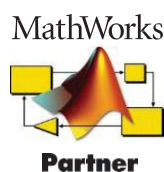
HPP活用例

- スパイク検知・分類
- 神経集合の検知・バースト解析
- 低周波狭帯域シグナル応答
(アルファ波、シータ波、ガンマ波)
- デジタルシグナルフィルタリングや他のDSP機能
- 実験コントロール
- アナログシグナル出力
- 複合刺激
- プレシジョンTTLパルス・トレイン

下記のようなDigital Lynx SXの全インプットデータを処理。

- バッファリングされたヘッドステージ / Digital Lynx インポートボード
- Cube2 ワイヤレステレメトリーヘッドステージ
- デジタルMUX (multiplexing) ヘッドステージ

本製品を活用するためには専門的なプログラミング知識・経験が必要です。



MUROMACHI KIKAI CO., LTD.

室町機械株式会社

本社: 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-1 TEL:03-3241-2444
大阪営業所: 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-3 オハル新大阪ビル TEL:06-6302-1277
福岡営業所: 〒812-0053 福岡市東区箱崎1-4-4 ラフィネ箱崎 TEL:092-651-7750
E-mail: sales@muromachi.com URL: https://www.muromachi.com/

2020.01.01

販売代理店